

砂撒き装置

①砂撒き装置...特に、蒸気機関車のクランクで動輪を動かす機構は、空転を起こしやすいと言われていますが、上り坂などで車輪が空転するなど、車輪が滑りそうな場合に、滑り止めの砂をレールに撒きます。

砂が撒かれるのは、主に主動輪へ撒かれるのですが、前進、後進、それぞれの場合を考慮して、前進用、後進用の砂撒き管と分かれています。圧縮空気の力で、1管あたり2リットル/分の砂を撒くようになっています、砂箱の容量はD51では580リットルあります。

(レールに撒いた砂は、残ると逆に客車(貨車)に抵抗がかかるので、ちゃんと洗い流すようになっているみたいですよ♪)

砂撒きは、機関士運転台の砂撒き作用コックを操作します。(⇒p8「砂撒き作用コック」)



砂箱を開けたところ



砂箱の内部。D51では580Lあります。

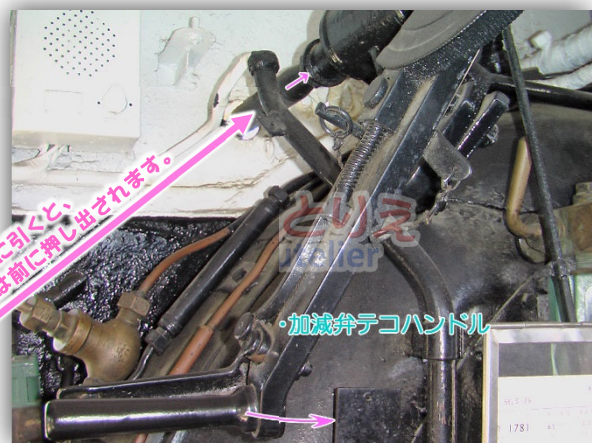


こんな感じで、レールに砂が撒かれます♪

蒸気ドーム(加減弁)

③加減弁...このドームの中には、沸騰した水が水蒸気になり集まる蒸気溜があるのですが、運転席の加減弁テコハンドルを操作して引棒が引かれると、加減弁が開かれ、この蒸気溜の中の蒸気がボイラーでさらに過熱され、シリンダーに送られます。

加減弁は、機関士運転席の加減弁テコハンドルを操作して開閉します。(⇒p7「加減弁テコハンドル」)



ハンドルを手前に引くと、加減弁の引棒は前に押し出されます。

もし、この PDF の内容が良かった、と思われた方は、
ぜひ、『D51688 号パーフェクトブック』をお買い上げください。
1 冊 2000 円(フルカラー54 ページ)です。

ちょっとお高いですが、全てフルカラーの写真を入れたら、こうなってしまう
した。

なお、パーフェクトブックの売上金は、D51688 号保存協力会の、研修費用等に
充てられます。

パーフェクトブックが現在販売されている場所は、
岡崎市南公園 交通広場、管理棟の 1 階窓口(木曜日は休園日)です。
または、月 1 回の管理清掃が行われているときに、清掃を行っている、保存協力
会員にお問い合わせをしていただいても結構です。

D51688 号機は、現在、愛知県岡崎市にある、岡崎市南公園 交通広場で、
静態展示が行われています。

もちろん、(休園日でも)柵の外からは、いつでも見ることは出来ますが、
月 1 度、第 2 日曜日の 9:00~11:00 の間に、管理清掃のために、柵が開けられま
すので、より近くで見ることが出来ますし、運転席内に入ることも出来ます。

南公園に来られた際のお土産としても「D51688 号パーフェクトブック」を、
ぜひ、どうぞ♪

※ぜひ、D51688 号に会いに来ていただきたいのですが、どうしても無理で、
パーフェクトブックを買っても良いよ、という方は、以下のメールでも受け付
けています(別途、送料・手数料がかかる場合があります)。

販売代行窓口：d51688-pb@azutelier.jp

このファイルを改変すること(特にこのページを切り離すこと)を禁じます。

©加藤あずき / D51688 号蒸気機関車保存協力会